16若者の法則（香山リカ）

　敬語の敬はもちろん「［　Ⅰ　］」という意味だが、それよりも丁寧なことばづかいをし合うことで、なんとなくその場の気分を和ませる、雰囲気をおだやかにする、という意味合いが大きいのではないか。

　今の若者は、「相手を［　Ⅰ　］」という意味での敬語なら（　Ａ　）下手である。謙譲語はもっと苦手で、「会社に勤めたら、電話をとりつぐときには（　Ｂ　）上司であっても『ただ今、山本はおりません。』と呼び捨てにするんだよ。」と話したら、①学生たちに「面白い」と笑われた。

　しかし若者は、場を和ませることばや言い方なら非常に得意だ。ただ、それはⓐ大人が習った丁寧語などとは、かなり違っている。

　最も目立つのは、メールでの絵文字や顔文字の多用。「レポート明日まで待って」の後に、記号を組み合わせた泣き顔のマークや「（苦笑）」なども大量に使い、懸命に自分の感情や心境を表現しようとする。こんな苦労を払うくらいなら、「レポート一日、待っていただきたくお願い申し上げます」と書いてしまったほうがどんなに簡単か、と思うほどだ。

　そのレポートにしても、課題についてひと通り論じたあとに、「P. S.」と記して授業の感想、最近の自分の日常などを書いてくる学生が多い。ある同僚の教員は、そういう②蛇足がついているだけで無条件に落とす、と言っていたが、よく読むと、彼らは（　Ｃ　）を［　Ⅱ　］として③追伸を記しているのではない。数行の中でセンスのよい言い回しなどを使いながら、彼らなりにレポートをうまくまとめられなかった謝罪や、講義に対する感謝などを示しているようでもある。これなどもⓑ彼らなりの〝敬語〟 に相当すると考えられるのではないか。

　このように、ⓒ従来の敬語は身についていない若者でも、決して人間関係を軽視したり鈍感になったりしているわけではない。逆に、ⓓ通りいっぺんの敬語を使う以上のエネルギーを使って、なんとか自分の気持ちを伝え、関係を良好にしようとしている、とさえ言える。

　そんなことをするくらいなら、（　Ｄ　）がんばって敬語の使い方を覚えてもいいのではないか。そう思う大人もいるだろう。しかし、小学校や中学の国語で習うはずの敬語が身につかないのは、彼らにとって、それはあまりリアリティが感じられないものだからではないか。「あなたはそうおっしゃいますが」と言われても、若者はあまり自分が尊重されたような印象を持たない。それよりは、「そんなこと言ってるけどね☆」と、そのときどきに応じた記号を使ったメールを受け取ったり、にっこり笑ってもらったりしたほうが、よほど気をつかわれている感じがする。

問１　［　］Ⅰに共通して入ることばをひらがな四字で答えよ。

〔　　　　 　　〕

問２　（　）Ａ～Ｄに入ることばをそれぞれ次から選び、記号で答えよ。

ア　たしかに　　イ　ちょっと　　ウ　必ずしも　　エ　たとえ

Ａ＝（　　　）　　Ｂ＝（　　　）　　Ｃ＝（　　　）　　Ｄ＝（　　　）

問３　―線部①について、学生たちが笑った理由として、最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。

ア　敬語の使い方が身についていないから。

イ　場の雰囲気を気にしたりしないから。

ウ　敬語なんて使う必要がないと思っているから。

問４　―線部②の意味として、最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。

ア　過剰な自己弁護

イ　必要以上の追従

ウ　余計な付け足し

問５　［　］Ⅱに入ることばとして、最も適当なものを次から選び、記号を○で囲め。

ア　買おう　　イ　売ろう　　ウ　示そう

問６　―線部③について、学生たちは「追伸」にどのような内容を書くのか。文中から一六字で抜き出し、最初の五字を答えよ。

〔　　 　　　　〕

問７　＝　線部ⓐ〜ⓓのうち、他の内容と異なるものを一つ選び、記号で答えよ。

（　　　）

【解答】

問１　うやまう

問２　Ａ＝ア　Ｂ＝エ　Ｃ＝ウ　Ｄ＝イ

問３　ア

問４　ウ

問５　イ

問６　授業の感想

問７　ⓑ

ポイント

問５　媚を売る＝気に入られようとして、へつらう。

問７　「大人が習った丁寧語」「従来の敬語」「通りいっぺんの敬語」は従来の、既成の敬語。その枠外の若者特有な「彼らなりの〝敬語〟」 があると筆者はいう。